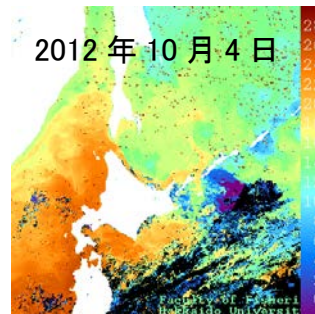
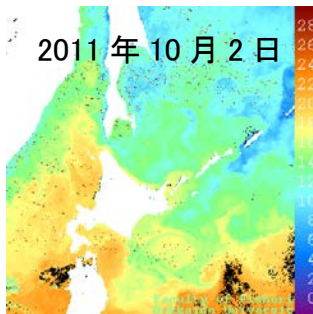




2012. 10. 19

北海道沿岸の異常高水温がもたらした波紋

最近では平年並みの気温に戻り、道内各地で初冠雪の便りが聞かれる季節になって参りました。しかし、今年はお盆以降の残暑に悩まされた方も多いと思います。この異常な高温傾向は、北海道の沿岸水温についても例外ではありません。下の図に、北海道大学水産学部のホームページから拝借した北日本周辺海域の水温の衛星画像を示してみました。左の図が今年の10月2日、右の図が今年の10月4日の状態です。赤色が濃いほど水温が高いことを示しています。今年10月初めになっても水温が下がらず、20℃以上の日が続きました。この状況は、冷たい水が好きなサケにとって好ましくありません。暖かい海水が壁になって、サケが沿岸に近づくのを阻んでしまうからです。実際に今年の漁期初めは魚が捕れず、漁師さんをハラハラさせました。ここ数日は水温も低下し、漁獲数も回復してきたようです。また、この高い沿岸水温は幾つかの珍客を招いてくれたので紹介します。



- ・余市起きでジンベイザメを捕獲し小樽水族館で展示
- ・釧路沖でサバが捌ききれないほど大漁
- ・本来は南方に棲むギンカクラゲ、コブダイ、ソウシハギ等の珍客が続出

会員の活動

- ・大雪と石狩の自然を守る会ニュース“ヌタ^プカムシペ145号”が発刊されました。
- ・千歳さけのふるさと館では、恒例のアクアリウムプチナイト、外来生物展、インディアン水車祭り、お魚写生大会展示会等が行われました。
- ・豊平川さけ科学館では、魚の骨格標本作り、さっぽろサケフェスタ、サケの採卵実習等が行われました。
- ・北海道サーモン協会は、夏休み親子サケ教室、市民講座(サケのお話とサケを使った料理実習)を開催しました。
- ・来る11月2日(金)に札幌のLプラザでサケネットワーク総会が開催されます。今年のテーマは、「東北地方における東日本大震災後のサケ事情」です。(B)